

病害虫発生予察情報

12月月報

平成 21 年 1 月 14 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況

2008 年 12 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	14.2	1.2	3.4	0.6	8.9	1.1	34.5	274	56.0	107
中旬	13.3	1.8	3.1	1.8	8.3	2.1	34.5	230	63.3	107
下旬	13.2	2.3	-0.2	-0.5	6.6	1.3	8.5	102	83.5	126
平均	13.6	1.8	2.0	0.6	7.9	1.5				
合計							77.5	216	102.8	114

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差 (比)：準平年値 (1979～2000 年の平均値) からの差 (比)

◎気 温：月を通じて平年より高かった。

◎降 水 量：上，中旬は平年より多く，下旬は平年並みであった。

◎日照時間：上，中旬は平年並み，下旬は平年よりかなり多かった。

<天候概況>

上旬：数日の周期で変化した。5 日は寒冷前線が通過して雷雨となり，2 日と 9 日は関東南岸を通過する低気圧により雨が降ったが，その他の日は概ね晴れた。

中旬：14 日と 17 日は伊豆諸島を通過した低気圧により雨となったが，その他の日は冬型の気圧配置や移動性高気圧により，概ね晴れた。

下旬：22 日は気圧の谷の通過により雨となり，その他の日は冬型の気圧配置や移動性高気圧により概ね晴れた。

2 作物生育概況

(1)野菜類

果菜類：促成イチゴはうどんこ病の発生が各地でみられているが，生育・収量等に対しては大きな影響はでていない。

葉根菜類：キャベツの秋まき苗の生育は順調である。ハクサイ、ブロッコリーも天候が安定したため、生育も良好で、順調である。コマツナは露地の一部で低温障害を受けた地域もあったが、気温が高めに推移したため、施設とも生育がおよそ2週間進み、収穫期が早まった。ハウレンソウも同様に生育は早まった。ダイコン、ニンジン、カブの生育は順調である。

3 病害虫の発生概況

(1)野菜の病害虫

トマト(施設・抑制)

灰色かび病

< やや多 >

発生はやや多かった。

葉かび病

< 並 >

発生は平年並であった。

オンシツコナジラミ	< 並 >	発生は平年並であった。
タバココナジラミ	< 並 >	発生は平年並であった。
ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。

コマツナ(施設)

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ(施設)

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
モモアカアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ(施設)

うどんこ病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ナミハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類 (施設)	< 少 >	発生は少なかった。
--------------	-------	-----------

(2)花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
シクラメンホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

花き共通の病害虫

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

(3)島しょの病害虫

八丈島：アシタバでクワゴマダラヒトリ、カタツムリ類、シロイチモジヨトウの発生が多かった。

ロベでクワゴマダラヒトリの発生が多かった。

ダイコンでヤサイゾウムシの発生が多かった。

キャベツでコナガの発生が多かった。

野菜類全般でカタツムリ類の発生が多かった。

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報, 発生状況, 防除方法
などをお知らせしています。